



## この30年で増えた野鳥

今月は、環境の変化にしたたかに対応し、この30年間で増えたとみられている野鳥を紹介します。

- メジロ**：旭山ではかつて時々見られるだけでしたが、ここ10年でカラ類の次によく見られる鳥になりました。またかつて人里離れた森にはいなかったですが、今は見られる地域もあります。
- ヤマガラ**：旭山では以前から変わらずよく見られていますが、かつては石狩低地帯より北と東では生息地が限られ、道東道北では稀でした。今では富良野美瑛で比較的好く見られ、それ以外でも生息地が広がってきています。
- ハクセキレイ**：かつて北海道と東北のみで繁殖していましたが、生息地がどんどん南下して広がり、今では九州でも繁殖が確認されています。また、市街地にも進出しおなじみの野鳥になりました。
- キビタキ**：東京湾の埋め立て地に造られた葛西臨海公園の森など、山地以外の新たに育った森でも見られるようになりました。植林している茨戸川緑地公園でも繁殖するようになるかもしれません。



メジロ



ヤマガラ



ハクセキレイ



キビタキ

- ムクドリ**：40年前の図鑑には北海道では夏鳥と書かれていますが、今は通年よく見られています。
- オオタカ**：かつて環境省指定絶滅危惧種に分類されていましたが、今は指定から外れました。人為的環境に適応するようになったのが数が増えた要因とも言われています。
- カワセミ**：1960-70年代に河川環境が悪化し激減しましたが、今は河川環境が改善され比較的好く見られています。元々普通種でどこにでもいる野鳥だったはずですが。
- アオサギ**：今は農耕地や水辺環境であればどこにでもいますが、30年前は数少ない決まったコロニー（繁殖地）の周辺以外ではあまり見られない野鳥でした。全国的に増えています。
- オオバン**：かつては数も少ない上に山地の水辺でひっそりと暮らしていましたが、今は平地でもカモ類が集まる場所に普通に來る野鳥になりました。

これらは日本で繁殖する野鳥ですが、渡り鳥でも数増えたり減ったりがあるかもしれません。



ムクドリ



カワセミ



アオサギ



オオバン

## レストハウス「ぽるく」通信 2023年11月

令和5年度の営業が11月12日をもって終了致します。  
今年も沢山のお客様にご来店いただきありがとうございました。  
酷暑でお客様やワンちゃんの姿を見かけない時期もありました。  
暑い一年でしたね。来年は過ごしやすく北海道らしい夏を希望します。  
5ヶ月後の令和6年4月12日金曜日から再開致します。  
それまで皆様、お元気でお過ごし下さい。  
再会の日を楽しみにしております！



レストハウス 2023年10月19日撮影



## 旭山野鳥メモ 55 イスカ

イスカ Common Crossbill *Loxia curvirostra* スズメ目アトリ科  
冬鳥として渡って来る他道内高標高地で少数が繁殖する。

旭山では越冬した年もあったがほとんどが秋と春の渡りの時期だけに見られる。春には何度か通過し、つごうひと月ほど断続的に見られ(秋も同様)、5月上旬まで見られる年もある。ほぼ毎年見られる。

雄(右写真)は翼以外全身朱色、雌は緑褐色どちらも色合いがきれい。

最大の特徴は嘴が交差していること。松かさから断片をはがして種子を食べるのに都合が良い。嘴は上側が右に降りるか左かは決まっていない。卵から孵化した直後の雛はまだ交差しておらず、右か左かは生後1~2週間で決まる。松ぼっくり以外に虫なども食べるが、基本は針葉樹にいるイメージ。

物事が噛み合わないさまを表す「鶉(いすか)の嘴(はし)の食い違い」、または単に「鶉の嘴」という言い回しがあり、日本では古くから親しまれてきた野鳥ではあるが、その割に一般への知名度は高くない。

「キッ キッキッ」と甲高い声で飛ながらも鳴き、その声はよく通り気づきやすい。

この秋は札幌市内各所の松ぼっくりがある公園で10月中旬からよく見られているが、過去10年で秋にこれだけ見られた年はなかった。この赤い鳥が冬の間も見られるのか、今冬は注目してゆきたい。



## 2023年11月の野鳥トピックス

※この秋は冬鳥の到来が早く数も多いですが、繁殖地であるユーラシア大陸での食糧事情が良くない可能性が考えられます

- ・ツグミ: 園内でよく見られており、昨年より数が多く早く来ています
- ・マミチャジナイ: 10月前半ホオノキの種子を食べによく来ていました
- ・ヒレンジャク: 10月から見られていますが本格化はこれからです
- ・ミヤマカケス: この秋は園内に数羽が定着しよく見られています
- ・キクイタダキ: 10月中から園内で見られていますがまだ少ないです
- ・シマエナガ: 日に何度か見られ時々10羽以上の群れで来ています
- ・クマガウ: 園内で時々見られていますがいつ来るかは分かりません
- ・ヤマゲラ: 「ピョップピョップ」と大声で鳴き始めて気づきやすくなり、時々近くで見られます (上写真イスカ♀)



## 旭山の紅葉2023年

夏の猛暑が長く続いた年は、紅葉の始まりが遅くなり、あまりきれいに赤く色づかないと言われています。

今年はまさにそう、ばらつきがありました。しかしそれでも旭山記念公園では今年も、秋の移ろい、木々の葉の色づきを楽しむことができました。

今年10月の写真を4枚紹介します。



(左上) 展望台一本桜 10/21 日撮影

(右上) 旭山でいちばんきれいに色づく

ヤマモミジ 10/29

(左下) ヤマモミジのグラデーション 10/28

(右下) 記念樹の森周辺 10/30

「アカゲラ通信」 第121号 2023(令和5)年11月7日発行  
(公財)札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所  
<https://www.sapporo-park.or.jp/asahiya/> 〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目  
電話 011-200-0311 (金・土・日・祝日 10時~16時) FAX 011-200-0351



公式サイト